

# 平成27年 6月定例会の報告

平成27年6月定例会が6月1日から6月19日まで開かれ、高山市条例の一部を改正する条例のほか、事件案件や人事案件など19議案を審議。すべて原案のとおり可決・同意し、議員提出の2議案を可決しました。  
なお、請願1件は不採択となりました。

## 6月1日 本会議

報第2号から報第6号までの報告案件(各案件についてはP6参照)についての報告がされました。

また、上程された議第67号から議第78号までの議案と請願第1号(各案件についてはP6参照)を質疑の後、各委員会に付託しました。

## 6月8・11・12日 本会議

一般質問(質問内容等についてはP7～14参照)を行いました。  
また12日に議第80号が追加上程され、予算

決算特別委員会に付託しました。

## 6月15日～18日 委員会 付託案件審査

### ◆各常任委員会

付託案件の審査(各案件の主な内容についてはP15～17参照)を行いました。

### ◆予算決算特別委員会

◎議第77号 一般会計補正予算(第1号)  
1億2,009万5千円の追加

・ふるさと納税返礼品予算の増額  
・留守家庭児童対策事業の拡充(荘川・栃尾校区)

◎議第80号 一般会計補正予算(第2号)  
1億2千万円の追加

・大雪による倒木被害に対する市独自の助成  
・議第77号と議第80号は一括で審査しました。  
・主な質疑は次のとおりです。

●ふるさと納税関係  
問 予算増額にあたって、ふるさと納税の件数をどう見込んだのか。  
答 当初2千万円で見込んでいたが、4月の実績をふまえ1億円と見込んだ。

問 高額な納税に対する返礼品の予定は。  
答 現在、1万円・5万円・10万円以上としているが、今後50万円というコースを設定する。

問 それ以上の金額設定はないのか。  
答 総務省から過度に高額な返礼品はひかえるよう指導があり、考えでない。  
問 他自治体で行っているモノではなく体験型事業などで返すという考え方は。  
答 現在は、地場産品の返礼としていたが、今後研究していきたい。



人気の飛騨牛

問 現在、1万円・5万円・10万円以上としているが、今後50万円というコースを設定する。

と把握している。  
問 職員配置と運営は。  
答 指導員を1名配置し、運営は委託するそれぞれのまちづくり協議会にお願いする。  
問 児童の安全確保は。  
答 指導員は保育士資格者を配置する。現在委託しているNPO法人による研修などで、安全な運営を含むノウハウを学んでいた。



栃尾小学校にも、留守家庭児童教室を開設

### ●大雪による倒木助成関係

問 今回の倒木だけが対象となるのか。  
答 昨年12月17日以降の倒木を対象とする。  
問 相談先はどこか。  
答 林務課で対応する。治山事業などに照らし合わせ、個人の負担が

少なくなるよう対応する。  
問 今年度はどれくらい実施する予定か。  
答 事業は3年間を想定しており、今年度1億2千万円を計上した。  
問 そのうち危険な個所の対応は。  
答 危険性の高い47か所については、県へ治山事業として採択されるよう要望している。  
問 申請書類の作成は個人では難しいのではないか。  
答 補助申請に精通している森林組合等の事業体を通じて申請していただく。

問 これまでに処理を終えた方で、証拠書類が残っていない場合は。  
答 確認できる書類等がないと、対象にできない。  
問 今後倒れて停電につながる可能性のある立木の対応は考えているのか。  
答 県・市と電力会社で負担の仕組み等について協議を進めている。